



巻頭言

## 東日本大震災、災害に思う

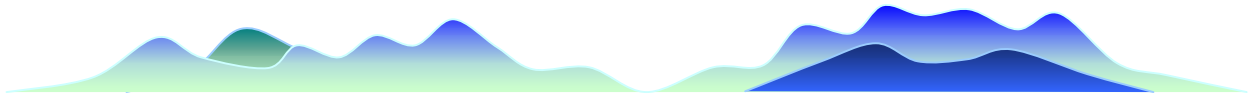
代表理事 齋藤 昭一

このたびの東日本大震災の災害に遭われた方々に心よりお見舞い申し上げます。

平成23年3月11日午後2時46分、未来永劫にわたり忘れることの出来ないことでしょう。震度9を越える大地震、30メートルもの大津波、さらには福島原発の爆発事故。これでもか、これでもかと襲いかかってきたのです。しかも、すべてはこの一瞬の時点で起こったのです。

4月9日現在、死者1万2876人、行方不明1万4865人、避難者15万3804人です。果たしてどこまでこの数字は行くのでしょうか？今回の被害の甚大さは4週間経った現在もその全容が明らかにされていないことです。宮城県沖の海底58キロの地点において6メートルの断層亀裂を発見して、大津波

の発生の一因が分かり始めたところです。3月27日のテレビ放送で、大船渡中学校の卒業式の模様が紹介されました。106名の卒業生、本来なら卒業式を行うべき体育館、今は多くの被災者が避難しています。教室で式を終えた生徒達は被災者の前に立つと一礼して「ふるさと」の歌をうたい始めました。皆泣いていました。被災者も生徒も皆泣いていました。聞いている私たちも泣きました。「ウサギ追いしあの山、小鮒釣りしあの川・・・その歌声には「必ず復興する」「ふる里を取り戻すんだ」との決意が伝わってきました。大自然に恵まれた元の大地を復興するために、私たちも出来ることから応援していきたいものです。



### 平成23年度総会開催のご案内

平成23年度総会を次の通り、横浜駅西口「かながわ県民センター」会議室で開催いたします。万障お繰合せの上、ご出席賜りますようお願い申し上げます。ご欠席される正会員の方は、委任状または議決権行使書をご提出ください。詳しくは「総会資料」をご覧ください。

総会終了後、懇親会を予定していますので、こちらにも是非ご参加ください。

~~~~ 記 ~~~~

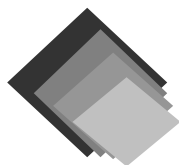
総会 日時 平成23年5月29日(日) 15時30分~17時00分(開場15時15分)

場所 かながわ県民活動サポートセンター7階711会議室(横浜市神奈川区鶴屋町2-24-2)

懇親会 時間 同日17時30分~19時00分

場所 津多家(つたや)横浜鶴屋町店(TSプラザビルB1)





## 第 17 回市民環境活動報告会 開催報告

実行委員長 内藤 克利

2011年3月5日(土) 横浜駅西口近くのかながわ県民センター2階大ホールにて開催しました。朝9時から会場設営、正午から夕刻5時までの口頭発表およびポスターセッションと忙しい1日でしたが、大きな混乱もなく終わりました。

この報告会は、もともと環境科学センター主催の講座「環境学習リーダー養成講座」を受講した方々に活動報告の場を提供する目的で提供されたものです。従って当会会員の方々はこのような場で発表された経験とか応援団として参加された経験をお持ちです。

来年3月には、第18回として開催されますので是非参加して下さい。

第17回のチラシ、要旨集(残部少々)等はこちらでご連絡頂ければお送りします。送料¥240になりますが、総会時には無料でお渡しできると思います。

(環境科学センター保存の全記録は当会に移管され、当会HPからダウンロードすることが出来ます。)

現在の運営状況について説明しておきます。

実行委員会: 当会・かながわ環境カウンセラー協議会・かながわ地球環境保全推進会議の3団体から選ばれた委員10人程度で構成しています。委員長は当会のメンバーから選ばれています。さらに、アドバイザーとして県環境科学センター及

実行委員会は3団体で構成

び県地球温暖化対策課から各1名の方々をお願いしております。

運営費: 20万円程度です。会場費、要旨集印刷費、各種資料印刷費、使用パネル運送費、基調講演者謝礼など直接経費のみです。口頭発表者、パネルセッション者には謝礼なしでの参加で、講演要旨集をお渡ししているだけです。

運営費は全額助成金に頼っていますが、申請から決定までの時間が少なく複数申請も考慮しなければと考えています。尚実行委員会の資金管理は当会で行っています。

報告会のテーマ: 実行委員会で審議して決めます。最近では生物多様性、温暖化等の言葉が多いです。テーマの決定により、基調講演者及び口頭発表者の募集となります。この作業は大変重要です。講演内容について講演者と協議を行い、テーマに沿った形で纏めて頂きます。(実際は講演者の意向がテーマに沿っていれば従っています。)

口頭発表者の人数設定と同時にパネルセッション展示数設定を行います。第17回はそれぞれ6名、9展示でした。通常はそれぞれ5名、10展示です。

この場合も同じでテーマとの整合性が重要です。第17回はテーマによく合う口頭発表者を追加したため、通常よりも1名増員しました。



基調講演の様子



ポスターセッションの様子



## 地域活動サポート部 県西地区懇談会開催

地域活動サポート部 吉田 榮一

平成14年7月より当時の当会清水会長のご提案で、自然環境やごみ問題など地域性の高い活動に当会が円滑な活動を支援し、その輪を広げる役割を担う部として地域活動サポート部が発足しました。最近では地域活動サポート部の活動がやや中断模様でしたが、本年度の理事会で検討し、部活動を再開することになりました。その第1回目として県西地区懇談会を香川元地域活動サポート部長のご尽力、ご企画により開催できました。大変ありがとうございました。県西地区懇談会においては次のテーマについての報告がありました。

当会の最近の活動状況 講師：桑原清当会理事

小田原市環境ボランティア協会の活動状況 講師：大西則男氏（小田原市環境ボランティア協会会長）

小田原市役所環境政策課の活動、環境再生プロジェクトなどについて 講師：藤島隆則氏（小田原市環境部環境政策課課長補佐）

県西地区会員の活動状況 講師：香川興勝氏（リ

ーダー会会員）

温暖化防止アクショングループの活動 飯田富佐江氏

これらのご報告はいずれも詳細かつ示唆に富む内容でした。ご報告くださいました方々に厚くお礼申し上げます。参加者全員でいろいろと議論を重ねた結果、当会に対しては地域で開催される環境フェスティバルのようなイベントに積極的に参加してほしいとの要望が強くありました。

この県西地区での懇談を通じて、当会としても何が具体的に協働・協力できるかをそれぞれの地区の必要な活動内容を十分に認識して、具体的・積極的な提案や行動が求められていると感じました。

今後の地域活動サポート部の活動については以上の観点も踏まえて理事会で検討していくことが重要ですが、会員の皆様からのご提案、ご要望も不可欠です。ぜひとも積極的に皆様のご意見をお寄せくださいますよう、お願い申し上げます。

地域イベントへの積極的な参加を！



## 東日本大震災に際して思うこと

エネルギー部会 安藤 紘史

東日本大震災と原子力発電所の事故、更には電力不足による影響と、この先どうなることかと案じられます。せめて自分にも役立つことは無いかと探しつつ、省エネを薦める毎日です。

この様な大惨事の中、唯一の救いは、人の優しさが目立つことです。

地震当夜、交通難民になった知人のエッセイの中に、見知らぬ人たちが駅で一晩過ごす内に、助け合うようになる様子が描かれていました。そして「こういう巨大な災害が起こると、人は自然の威力の前に弱さを感じ、より現実的になり、連帯感、優しさの感情がわくのであろう。個人の存在の弱さを実感すると、家族、仲間への繋がりがより強くなる。…」

考えれば、人は助け合うために社会を作ったはずなのに、（特に都会では）いつの間にか社会を競争の場と勘違いしていた感があります。都市化が進み、

周りの人が増えると、絆より煩わしさが先に出たのでしょうか。文明が進んで自然の脅威は征服したと勘違いしていたのでしょうか。復興に際しては、人の本来の姿である絆や連帯が不可欠であり、それを大切にしたい社会になって欲しいと思います。そして、被災地の復興が、日本全体がより良い社会になる契機にしたいものです。

被災地の復興が、日本全体がより良い社会になる契機にしたいものです。

しかし、当面の危機が去ると、またぞろ我欲が前面に出て、この流れを覆い隠すのも常です。そうさせない為には、長期ビジョン作りや有るべき姿の確認が必要になります。色々なグループや地域で仲間との知見を交流して、有るべき姿（私の場合は、エネルギーの将来像やそれに向けてできる事など）の確認をしたいと思っています。この災害をいつまでも過去のものとしなない為に。

危機  
やさしさ  
あるべき姿

相模原だより

## “ 目指せ環境博士 ”

### 「子ども環境学校 食べ物博士になろう」

相模原市 福田 昭三

新政令都市となった相模原市の環境情報センターにて自然や省エネ、リサイクル等、「楽しんで環境博士になろう、地球環境と食べ物の関係」を主題に2月27日に開催されました。参加者は親子連れの30名ほどでした。会場では、全員が、ミル、フレル、ヤルキをモットーに、四角テーブルを丸く囲み、講師と参加者のカベをなくして身近に親子が一緒になって実施いたしました。講師の柳川、上田両氏が持ち味を十分に生かして、会場は楽しい学び屋になりました。

第一部 昔懐かしい紙芝居の演題は「宇宙人ミノリン」。素朴な絵と柳川三郎氏の味ある語り口に親子みんなが画面に釘付けでした。



ある冬の晴れた日に宇宙人ミノリンは地球にやってきました。友達から地球は美しいところだと聞き、初めての一人旅に地球を選んだのです。そして地球上のどこの国の言葉も話せる万能翻訳機を持って、ある公園で子どもたちと仲良くなり、おてんばのリカちゃんの家で昼食をいただくことになりました。おかずはコンビニのお惣菜、そして古くなったハウレンソウの胡麻和えでした。しかし古くなったハウレンソウは食べられず、ゴミ箱に捨てられました。その時、ミノリンに「助けてー。僕はみんなに食べてもらうために遠くから来たのに捨てられて本当に悲しいよー。」という声が聞こえました。「街中が嫌なおいでいっぱい。魚たちはどこかに逃げて、緑は枯れ、虫や小鳥たちの姿も見えない。ここが本当に美しい地球なのですか」とカラスに聞いてみると、カラスは「ここは間違いなく地球だよ」と言いました。

「なぜあの美しい地球がこんなに汚れてしまったのですか?」と、古い小屋にあったお釜を見つけてお釜に聞いてみました。するとお釜は不思議なハンドルを回して昔の風景を見せてくれました。目の前は青々とした田んぼ、稲が元気に育っています。次に稲が金色に実った風景、金色の実のお米、お釜さんは自分の出番とばかり誇らしげに、「たいした新米は甘くてモチモチして良い香りがするよ。お米は大切に一粒一粒大事に食べるんだよ。残したり捨てたりしたら本当にもったいないよ。お米は長い年月と手間をかけて大切に育てた人の気持ちや太陽の恵みに感謝して、もったいないという気持ちをしっかり持つことです。」と言いました。ミノリンはもったいないとありがとうの気持ちがあれば、あの美しい地球に戻れると思い、10年後にまた来ようと思決めました。

第二部 「旬 地産地消」を上田恵一氏が担当しました。



4つの班に分かれて担当する料理と買い物リストを作成。その料理に必要な食材を、カード商品の中から、環境の事を考えて選びます。その選んだ理由を発表して自分の好きな料理を手作りします。そして各自が手順ごとに模造紙にまとめます。まったく勝手に思うがままに作り、そして勝手にまた意見を言う、いろいろな意見が出る楽しい一瞬でした。

そのあとで、相模原の地元産の人参、大根を生のまま試食しました。ゴマとホシガキをあえての食でした。親子ともども全員が美味しい美味しいと言って、楽しく終わりました。

## ★ 新入会員紹介 ★

### 入会して 良かった！

中澤 信子（横浜市）

「環境ボランティア養成講座」の受講をきっかけに、平成21年に入会しました。実は、その3月に45年間続いた勤め人生が満期終了し、そろそろ家に居るのも飽きてきた6月、「ボランティア養成」の文字に惹かれて、取りあえず応募したのです。

ところが、初発の講義に刺激されてしまいました。『・・・もし地球がビーチボールだとしたら空気層はその周りに数ミリしかない。今、それが破られようとしている・・・』

無関係と思っていた環境破壊が自分事に感じられるようになり、受講を重ねることによって一層危機感が募るようになりました。年金暮らしの主婦でも何か行動しなければと、最終日のご案内で、即、入会しました。

所属は迷ったすえ、大気環境部会に入りました。生きるには水と空気が不可欠ですので、全く未知な領域からと考えました。

活動は、部会での6月と12月のNO<sub>2</sub>の定例測定が中心です。自分の居住エリアの5ヶ所を選びました。現在、3回の測定体験をしました。やはり緊張します。特に試薬を使った分析が難しいです。幸い、猪股部長を中心に、部員の方々のさりげない支援が功を奏しています。担当エリアの値は今の所、

安全値になっていることがわかって、やりがいを実感しています。まだ県下全域を網羅した測定分析では、半分も理解できないですが、専門用語を使ったの会話は新鮮に感じます。

他には、「省エネ家計簿」「マイレジ袋」の実践をしています。いずれも家計簿が潤うのがうれしく（電気では前年比53KW/月減。1万円以上の収入増？）主婦仲間にPRしています。

最後に付け加えたいのが、今回の大震災での対応についてです。スーパーの棚が次々とカラになっていくのを目にして、強い不安感に襲われながら、買占めの列に並ばなかったのは、部会での学びによる

ものでした。うまく表現できませんが、例会では、先輩の言動等から、科学的思考とそのよさを学んできたのに、感情の

ままに動こうとする自分に気づき、恥ずかしくなり、思い止まったことは、よかったと実感しています。原発事故も含め、混乱は当分続くと思いますが、情報を正しく理解し、よりよく対応していきたいです。

新米なりに今後も、今よりも地球環境がよりよくなる為に、諸先輩の先陣を学びながら、行動が出来る自分づくりをしたいと考えています。

感情ではなく  
情報を正しく！

### 「環境マナー会」を立ち上げました！ 自分の環境を総点検しませんか？

森山 多津子（東京都町田市）

こんにちは、新規「環境マナー会」の森山と申します。私のつくった環境が、あまりに人と違った事をやってきたので、それが正しいかどうか良くわかるために、自分でつくった質問で解決してみました。結果は、家庭関係と人間関係に少し悪い問題がありました。みなさんもぜひ、自分の環境を総点検してみてください。きっと自分の望む環境になっていくことでしょう。そして、点検してよかったと言えることでしょう。

環境マナー会で生活を中心に自分の環境づくり

をしませんか？ 自分の環境をつくることで、まず自分を知って欲しいのです。そしてその環境を正しく直すことで社会に認められる自分になって欲しいのです。質問に答えてヒストグラムで自分の得点を評価し合いましょう。環境は扱う人によって良くもなる、悪くもなるという事です。

入会者を募集しています。よろしくお願ひします。

電話：042-728-6249（午前中）

メール：mypark02114 @ yahoo.co.jp

正会員(一期生)の森山 多津子様から、理事会に「環境マナー会」設立のご提案をいただきました。森山様のご提案に賛同される方が多数おられましたら、正式の部会とすることも理事会で検討します。(事務局)

## 部会活動

### ケナフ部会

部会長 荒谷 輝正

活動予定(4月下旬~6月)

- ・4月19日 横浜市港南区永谷地区センターで「牛乳パックを利用した紙漉き」開催
- ・5月13日 環境科学センターから依頼の「市町村環境学習担当者研修」でケナフ部会で実施している環境講座を紹介予定

定例部会開催予定(原則、毎月1回実施予定)

- ・4月23日 環境科学センターでの畑起こし及び種まき(東日本大震災の影響で環境科学センターが利用できないため1カ月延期)
- ・5月部会 開催予定日時未定

活動報告(2月~3月)

- ・3月5日相模原市立環境情報センターから依頼で身体障害者の為の一般教養講座の一環として「省エネ講座」を実施 同伴者を含めて15名参加
- ・2月27日 相模原市立環境情報センター主催子ども環境教室「牛乳パックでハガキを作ろう」73名の参加で盛況裏に終了



- ・2月9日~2月13日まで紙管クラフト展覧会を相模原市ギャラリースペース遊(相模原市千代田2-2-15メイプルビル2F)で開催約80名の来場があり大変好評でした。

その他の報告

- ・3月末次年度の環境科学センター圃場延長使用願い提出。
- ・ケナフの対外向け講座の記録をまとめました。ケナフ部会発足以来12年間の間に対外向け講座

  1. ケナフ紙漉き(牛乳パック利用を含む)106回
  2. 古紙紙管を利用した講座 26回
  3. その他講座(他の部会等と連携)7回

### エネルギー部会

部会長 桑原 清

活動予定(4月下旬~7月)

定例部会(県民サポートセンター16~18時)

- 5月11日 710会議室、6月8日 710会議室、7月13日 710会議室

活動報告(2月~4月)

定例部会(県民サポートセンター16~18時)

- ・2月9日 702会議室 研究テーマ「部屋の断熱」の検討。勉強会:温室効果ガス排出量推移、「部屋

の断熱」予備試験の結果報告他

- ・3月9日 709会議室 22年度部会収支報告・事業報告、23年度事業計画の検討。勉強会:「テレビの省エネ」実験、再生可能エネルギー、「部屋の断熱」予備試験の結果報告他
- ・4月13日 710会議室 研究テーマ「部屋の断熱」実施方法の検討。勉強会:福島原発事故関連の意見交換、省電力の検討他

### 大気環境部会

部会長 猪股 満智子

活動予定

- ・5月28日(土)13:30~16:30 NPOセンター大船定例部会とNO<sub>2</sub>測定準備(ろ紙充填)、23年度計画、役割分担など。エコアナライザー方式とエコチェッカー方式2種類の測定比較のための準備。欠席のない様ご参集願います。なるべく鋭利なピンセットをご持参ください。
- ・6月2日(木)夕方~3日(金)夕方の24時間

NO<sub>2</sub>測定

- ・6月12日(日)13:00~16:00 KERC 実習室
- ・6月17日(金)13:00~16:20 県・二市環境公害研究合同発表会 関内 横浜技能文化会館

活動報告

- ・3月5日(土)かながわ県民センターホール 第17回市民環境活動報告会のポスターセッションで「かながわの空~NO<sub>2</sub>測定、浮遊粒子状物質

(SPM・PM) 指標生物から見てみよう～」と題し、H22年度の調査活動を発表(長村、鎌田、安丸、佐伯、猪股が担当)。板橋区在住の環境カウンセラーと、「いきものみつけ」情報をお寄せくださった県環境科学センター環境監視情報課の小塚広

之様もご出席下さいました。

- ・3月22日(火)定例部会及びデジタルミリオン版地図入力講習は計画停電等を考慮し、中止としました。

## 水環境部会

部会長 齋藤 昭一

諸般の事情により4月、5月の一般活動は中止いたします。6月以降につきましては改めて往復ハ

ガキにてご連絡いたします。

尚、個人、グループによる活動は続けてください。

## 廃棄物 GO3 部会

部会長 内藤 克利

H22年度は個人的なことから殆ど活動できませんでした。

可燃用廃棄物はやや減少ですが、容器包装プラスチック排出量は大きく増加しております。

処理費を出せば使える便利な包装機材との認識だろうと思います。どうすれば減量出来るかを23年度に行動してみたいと考えています。

一緒に行動して頂ける方を求めています。

## グリーン部会

部会長 柳川 三郎

活動予定

- ・7月下旬 平塚市環境フェアの環境教室に出前事業「エコな買い物の仕方を学ぼう」実施予定。
- ・定例会議は毎月開催。

活動報告

- ・1月14日(金)平塚市みずほ小学校にて「エコな

買い物の仕方を学ぼう」講師担当

- ・2月27日(日)相模原市環境情報センターにて公募(30名参加)による「エコな買い物で誕生日パーティーを開こう」の講師担当
- ・各事業を行うために事前の定例会議を月毎に実施しました。

## 自然環境部会

部会長代行 吉田 榮一

活動予定

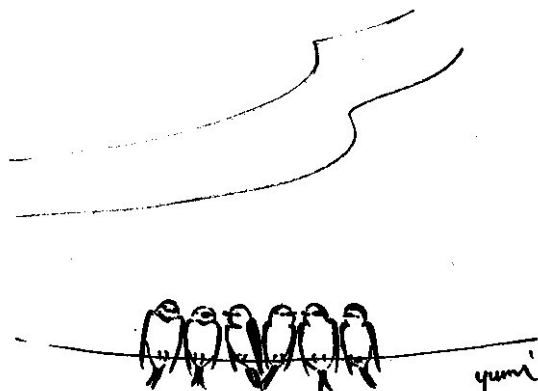
5月7日(土)10:20~12:20 かながわ県民センター709号室 部会と活動報告会開催予定(詳細未定)

活動報告

2月8日(火)小田原城址公園で自然観察会開催(地域活動サポート部と共催)



多数の大きな木を観察



## 事務局だより

事務局 桑原 清

理事会開催予定

かながわ県民センター会議室、14:00～16:00

5月12日(木)708会議室、6月9日(木)708  
会議室、7月14日(木)709会議室

理事会報告

2月8日 おだわら市民活動サポートセンター  
市民環境活動報告会、23年度総会準備等について  
協議

かながわ県民センター会議室、14:00～16:00

3月10日 地域サポート部、22年度事業報告、  
23年度事業計画案等について協議

4月14日 23年度総会議案書関連事項、コミカ  
レ実施時期等について協議

## 「エコポイント環境寄付について」

会計 田口繁雄

当会では平成22年度にエコポイント環境寄附金を  
「環境学習の実施など」のためにグリーン家電、お  
よび住宅のエコポイントから¥376,439円

(H23.3.31現在)受け取りましたのでお知らせしま  
す。このエコポイント環境寄附金は、平成23年度  
事業で有効に活用致します。

あわせて「市民環境活動報告会開催の備品購入や  
運営経費」のために(財)神奈川県教育福祉振興会  
から教育文化活動補助金¥300,000円(H22.10.25)と  
(株)リコー社会貢献クラブ(リコーG有志社員の  
献金)からの寄付金¥200,000円(H23.1.31)を受け取  
り、目的に沿って有効に活用致しましたのでお知ら  
せいたします。

関係各位には、感謝致します。



## 参加協力をお願いします!

(一部環境省いきものみっけ連携)

### 気候変動を見守ろう

身近な生物を指標に初確認日をご報告願います。

キーワードは「いつ、どこで、初見、初聞き」

春～夏の対象; カントウタンポポ(花)、シロバナタ  
ンポポ、ソメイヨシノ、ツクシ、ヒキガエルの卵、  
ウグイス、ツバメの飛来・子育て、コシアカツバ  
メ、ニホンカナヘビ、モンシロチョウ、スジグロ  
シロチョウ、アオスジアゲハ、ツマグロヒョウモ  
ン、ナガサキアゲハ、ムラサキツバメ、ホトトギ  
ス、カッコウ、ハルゼミ、ヒグラシ、アブラゼミ、  
クマゼミ、ツクツクボウシ、ニイニイゼミ、ミン  
ミンゼミ、クズ(花)

遠出をする必要はありません。自宅周辺、外出の際  
などに、ほんのちょっと注意をはらうと、毎年の気  
候変化が手に取るよう。1種でも結構です。見つけ  
たもの、聞いたものと簡単な地名をご報告願います。  
県版データ化しています。一度確認した場所を毎年  
追ってみるのもいいですね。

送り先: 大気環境部会 猪股 Tel/Fax 0467-32-6858

Eメール: km\_inmt@ybb.ne.jp

(環境省主催いきものみっけシートの当会への重複送  
付も大歓迎! 環境省いきものみっけのホームページ  
は、<http://www.mikke.go.jp/> をご覧ください。)

特定非営利活動法人

神奈川県環境学習リーダー会 会報 第74号

発行日: 2011年4月28日

発行者: 代表理事 齋藤昭一

編集人: 田口繁雄広報部長代行、長村吉洋広報部

〒231-0013 横浜市中区住吉町2-26

洋服会館3階 よこはま市民共同オフィス内

FAX: 050-3488-4943

E-MAIL: npo.k.leader@gmail.com

URL: <http://npo-k-leader.net/>

寄付、会費等納入口座: ゆうちょ銀行

00230-4-30769 神奈川県環境学習リーダー会

不許複製 © 神奈川県環境学習リーダー会

2011 Printed in Japan